

2011年2月12日 やまねこマラソン

宿院

行ってきました西表島は「やまねこマラソン」。島にはよく行くのにマラソンは初めてです。ここの民宿「あけぼの館」で仲良くなった友人たちの「楽しいよ。」の言葉に引き込まれての参戦です。

KTCからは、4月の石垣大会に向けて喜田さん、大河内さん、私の3人が23キロの部にエントリーしました。

■現地入り

大会当日土曜の朝、那覇から飛行機で1時間、石垣から西表までの船は上原便が欠航で大原廻りで1時間、そのあとバスに1時間揺られて現地着はスタート2時間前。木曜入りする予定だったのに、仕事を立て込んでしまい急遽こんなハードスケジュール…。

→教訓①仕事は余裕を持ってこなすべし！

■スタート直前

ガンガン行くつもりながら、実は楽しみましょということで、3人ご覧の出で立ちです。私は折り返し後に友人からウサギを受け取ってかぶりました。



■スタート直後

さあ12時40分スタート！パーン！

ピストル音に反応して思わず飛び出す猟犬のごとく、それゆけダッシュだ！ワン！しかーし、すぐに

「おしっこしたい…」

い、いきなり難題が…

「うー、どこでしょう。」

「30秒はロスする～」…

→教訓②スタート前の水分取りすぎには注意すべし！

■中盤

それでも何とか我慢して、10キロの通過タイムは39分10秒。

「よし、後半ペースを上げて1時間半切りだ！」

と意気込むが、その直後、白浜のトンネル手前の坂が見えた瞬間気持ちが急降下。斜度はそんなにもないのに、なぜかこの坂が壁のように見える不思議な光景だ。ここまで陸上部風の2人と3人で併走していたが、坂が見えた瞬間「おおー」とみんなびっくりするくらい。

で、上がり始めると、

「この坂腰にくる～」

と案の定ペースダウン。でもあきらめない、やるだけやるぞと踏ん張り、折り返しの11.5キロ地点で46分10秒。このあと次々にすれ違う友人たちが、みんな声をかけてくれるが、自分から先に見つけれないのは、きっと余裕の無さの裏返し。悔しいやら申し訳ないやら。

そうこうしているうちに、13キロ地点でかぶりものをした喜田さんと大河内さんとすれ違う。

「今19位やぞ！」

の声に奮起して、キロ4分にペースアップ！でも、

「く、苦しい、このペースは無理だ…」

「いやいや頑張れる…」

と葛藤しながらの14キロ地点で、前方にウサギをかぶった友人が…。ここでウサギを受け取る約束だ。でもあれかぶるのつらいなあ、見なかったことにしようか、素通りしたろか…、とかなり消極的。

あ一段々近づいてくる。あっもうそこだ！あーどうしよう、そして…

「宿院さん、ウサギは一い。」

「あっ、うっ…」

しばし沈黙…

「よーし、こうなったらこれも運命だ！」

とウサギをかぶって走る。が、これが予想外に暑い。すぐに脱ぎ、手に持って走るが、これまた意外に重い。

「あかん、無理や！」

→教訓③ウサギのかぶりものには注意すべし！

■後半18キロまで

折り返してから18キロまでは、キロ4分10秒ペースで踏ん張るも、

「あ、足が重い。」

「ウ、ウサギも重い。」

「あれ、ハムが動かなくなってきたぞ。」

「おかしい…」

「そういえば、おしっこ我慢して、全く給水していない。」

「からだのバランスが崩れたか。」

→教訓④レース中はこまめに給水すべし！

■18キロからゴールまで

浦内川手前であと5キロ。よしここからウサギおやじに変身だ！暑さをこらえてこの1キロは4分20秒。

「おーハンパない暑さや！」

20キロ過ぎてからは、沿道に人が多くなり、たくさんの声援を浴びる。

「ウサギがんばれー」

「ウサギちゃーん」

「きゃーかわいいー」

へへ、これってめっちゃ楽しいやん。こんなことならバニーガールの格好で走れば、もっと楽しかったかなとアホなことを考える。声援を受ける度にニコッと笑って手を振る。

「年代別入賞も無理やろうし、もうタイムなんてどうでもいいや。」

足も痛いし、動かないし、ペースを落として最後の2キロは、沿道の声援を楽しみながら走る。

そして、ゴール手前で待ち受けてくれている友人たちに手を振りながら、ゆっくり駆け寄りポーズ、カシャ。

その間、後ろからもすごい勢いで抜かして行った人が2人。いつもなら、ゴールまで激しくバトルをするはずが、ウサギが必死の形相で走ったら子どももびっくりすると思い、今回は23キロの余韻に浸りながらゆっくりゴール。

タイムは1時間39分9秒。総合は24位／684人、年代別は最後に抜いていった人が3位で、私は4位／91人。アホや(涙)

その後、あけぼの館チームは全員無事ゴール。

→教訓⑤レース中は冷静に自分の順位をチェックすべし！

■ゴール後

で、みんなでくつろいでいるときに私、

「西表やからネコのかぶりものならわかるけど、なんでウサギなの？」

の声に一同、

「今年はウサギ年やん！」

の声。

「あっなるほど」と腑に落ちました、って鈍すぎ？

「もう来年はウサギはかぶりません、タツノオトシゴかぶります！」

かぶりものに目覚めた大会でした。

来年に乞うご期待！

でも仕事で行けないだろうなー(涙)

■翌日

翌日はマラソン参加者とともに、西表で二番目の高さのテドウ山に登りましたとさ。

■そしてお礼

ご一緒しました皆さん、とっても楽しかったです。

ありがとうございました！（おしまい^^;）

